

競技注意事項

1. 規則について

本大会は2012年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 代々木公園陸上競技場（織田フィールド）使用上の注意

- 1) 当該種目出場競技者以外は、競技実施エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) 更衣室は管理事務所付設のものを使用することができる。
- 3) 競技場は全天候舗装である（競技規則第143条「競技用靴」の項を参照）。
- 4) 競技場内での全ての電源の使用を禁止する。

3. 練習について

- 1) 練習場所については、14:00～15:45までトラック内で練習することができる。ハードルの使用は、次の通りとする。

競技種目		練習場所
男子	110mH	ホームストレート（8レーン）
	400mH	第1曲走路からバックストレート（8レーン）
女子	100mH	ホームストレート（7レーン）
	400mH	第1曲走路からバックストレート（7レーン）

- 2) 周回レースが行われていない時間帯（17:00～17:50）についてのみバックストレートを開放する。その際、事故のないように各自十分注意し、現場の審判員の指示に従うこと。
- 3) フィールド競技種目の練習は、各審判員の指示に従い競技開始前に各々の競技場所にて行う。
- 4) 走高跳の練習は本連盟で用意したゴム製バーを使用して行う。

4. ナンバーカードについて

- 1) ナンバーカードは正規のものを2枚配布する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。ただし、走高跳競技者は胸だけでもよい。トラック種目出場者は競技者係で配布の写真判定用腰ナンバー標識（競技終了後回収）をパンツの右下やや後方につける。すべてのナンバーカードは折り曲げたりしてはならない。

- 2) ナンバーカードの地色、数字の色は次の通りとする。

種 目	配 色
● 男子全種目	黄地×黒数字
● 女子全種目	ピンク地×黒数字

5. 競技者の招集について

- 1) 招集所は用器具庫付近（3000m 障害水濠奥）に設置する。
- 2) 各種目の招集完了時刻は次の通りとする。なお、招集完了時刻は競技日程を基準とする。

競技種目		ラウンド	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	男子、女子全種目	決 勝	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
	男子、女子投てき種目	決 勝	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
フィールド	男子、女子跳躍種目	決 勝	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前
	男子、女子跳躍種目	決 勝	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前

- 3) 競技者の競技実施エリアへの入場は担当審判員の指示による。
- 4) 代理人による点呼は認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合、代理人は競技者が競技中である旨を必ず競技者係に申し出ること。
- 5) 招集完了時刻に遅れると、当該種目を棄権したものとして処理するので注意すること。
- 6) リレー競走は、走順をオーダー用紙（招集所にて配布）に記入して、**招集完了時刻 1 時間前までに競技者係に提出**すること（メンバーについては競技規則第 170 条を参照のこと）。

6. 棄権について

エントリー後、病気または事故等によりやむなく棄権する場合は、次のいずれかの方法で不出場届を提出すること。

- 1) 7 月 21 日(土)までは本連盟ホームページ (<http://www.kgrr.org/>)に記載してある「不出場届 (Excel)」に必要事項を記入し、FAX (03-5411-1499)にて提出する。
- 2) 7 月 22 日(日)は招集所に用意してある「不出場届」に必要事項を記入し、招集所(競技者係)に提出する。

7. 競技の抽選・番組編成

- 1) トラック競技の走路順は、プログラム記載順とする。エントリーが 7 名以下の場合は 1 レーンを空けて 2 レーンから行う。
- 2) フィールド競技の試技順は、プログラム記載順とする。

8. 用器具について

競技に使用する用器具（やりを除く）は、すべて主催者側が用意したものを使用しなければならない。なお、やりに関しては持ち込みを希望する場合は招集完了時刻 1 時間前までに用器具庫（3000m 障害水濠奥）にて技術総務兼公式計測員の検査を受けること。

9. 競技について

- 1) 跳躍競技（高さで順位を決定する競技）のバーの上げ方は次の通りとする。

走高跳 (男子)	練習	1	2	3	4	以後、最後の 1 人になり、優勝者が決まるまでは 3 c m 刻みとする。
	1. 95	2. 00	2. 05	2. 08	2. 11	
走高跳 (女子)	練習	1	2	3	4	
	1. 55	1. 60	1. 65	1. 68	1. 71	

ただし、気象条件等で変更することがある。

- 2) 走幅跳・三段跳・投てき種目については2回の試技で上位8名を決定し、以後2回の計4回までの試技とする。
- 3) トラック競技の計時はすべて電気計時（0.01秒）を用いて行う。
- 4) 身体の故障のため競技を続行することが困難となった場合は、最寄りの審判員に申し出て、指示を受けること。
- 5) 800mに関して、1つのレーンに2名入る場合がある。
- 6) 男子三段跳の踏切板の位置は砂場の近いほうの端から13mとする。

10. 表彰について

- 1) 各種目とも3位までを表彰し、副賞を与える（2組以上の場合はタイムレース上位3名とする）。対象者は大会本部まで受け取りに来ること。
- 2) 全種目を通して最も優秀な成績を修めた男女各1名に最優秀選手賞を与える。

11. 抗議について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表（アナウンス）されてから30分以内に、担当総務員（大会本部に常駐）を通じて口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なされる。

12. 商標等について

競技者が競技場に商品名のついた衣類、バッグなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。また、基準をこえる商標については必ずガムテープ等を貼って隠すこと。

13. 応急処置・緊急車両の手配について

- 1) 競技中の事故等によって身体の故障が起こった場合、医務員が応急処置を行うが、その後の治療費等は本人負担とする（競技者保険の適用）。また、事故の結果について本連盟は一切責任を負わないものとする。
- 2) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場側の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、その際は、詳細を含め大会本部に連絡すること。

14. その他

- 1) 2012年度日本陸上競技連盟競技規則の修改正点について特に注意すること。
- 2) トラック種目における不正スタートは1回で失格とする。
- 3) 競技会において競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んで서는ならない。
- 4) 競技運営上、競技日程に変更が生じる場合がある。
- 5) 競技実施エリアに立ち入ることができる者は、ネームプレート・ID・報道用ビブスのいずれか1つをつけている者に限られる。なお、競技実施エリアでの競技者の付添も一切認めない。
- 6) 盗難・紛失について
主催者側で受領した物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。遺失物等は一般受付テント（フィニッシュ側ゲート付近）で管理する。

- 7) 大会当日に出たゴミは、必ず各自で持ち帰り処分すること。
- 8) 代々木公園陸上競技場（織田フィールド）開門および閉門時間について
開門 14：00 閉門 20：00
- 9) 駐車場について
参加者の車輛は場内に駐車することはできないので、近辺の有料駐車場等に駐車すること。近辺での路上駐車は厳禁とする。
- 10) その他、不明な点は大会総務に問い合わせること。